

農業振興公社だより

東京「目黒区商工まつり」に出店しました

七月二十七日(土)・二十八日(日)の両日、第五十回目黒区商工まつりが、目黒区の区民センターで開催されました。公社から農業実践塾の実践の場として十名が参加し、野菜や農産加工品を販売してきました。

両日とも三十度を遙かに超す灼熱下の会場で一張りのテントの中に商品陳列を行い、十時から販売を始めました。テントの前で、玉葱とシヤガイモの詰め放題を行ったところ、これが大評判となり、初日の午前中に完売となってしまいました。



▲販売の様子



▲接客風景

その後も角田市のテントには絶え間なく客が訪れ、産直品・加工品を買って頂きました。特にトウモロコシ、トマト、きゅうりなどの夏野菜が人気がありました。二日目も前日に用意していた加工品を中心に品揃えをし、ほぼ売り切れとなりました。更に今回は東京在住の特別会員の方に対して利用の御礼と意見感想を直接伺う目的でイベントに参加した際に、角田のコーナーで声をかけて頂くようハガキで案内しました。十七名の会員の方が角田のテントに来て頂き貴重なご意見や感想をお聞かせ頂きました。

◆ 発行 ◆

公益社団法人 角田市農業振興公社
〒981-1505 宮城県角田市角田字大坊四一
電話 (0114) 63-2318
FAX (0114) 61-1511
URL <http://www.kakunou.or.jp/> E-mail kakuda@kakunou.or.jp

おらほの美酒(うまさけ)を育てる会総会開く

おらほの美酒を育てる会(正式名称)角田市地酒用地場産米消費拡大推進協議会・岸浪俊一(会長)は、七月十七日ふれあいセンターで第十三回通常総会を開き、二十四年度事業報告及び収支決算の承認など三つの議案を審議、決定しました。

総会には十五名の会員が出席しました。

はじめに岸浪会長が、二十四年度、角田市ブランド推進課、シンケンファクトリーと共催で“かくだ利き酒三酒競技会”を開催し、盛会の内に終了したことを報告しました。

JAみやぎ仙南の佐藤組合長の祝辞の後、伊藤稔さんを議長に選出し、提案された三つの議案が満場一致で承認されました。

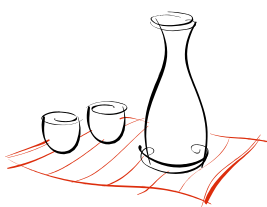


『事業計画』の関係では、昨年度有志で取り組んだ新たな酒造り(限定無印)の組織と連携し一体で運営を進めていくこと、『役員改選』では関係機関の異動等で一部の役員が交代をしましたが、会長以下留任をすることなどが決まりました。

総会終了後は、玉手副会長の著書「ランドセルのうた」出版の祝い会を兼ねた懇親会が開かれ、会員の親睦を深めました。

変更になった役員は次の通りです。

監事 (新) 斎藤巧一氏 (JAみやぎ仙南角田地区本部長) < 前任者鈴木守二氏 (同) >
幹事 (新加入) 佐藤和行氏 (酒米研究会)



一層の満足提供に向けて
特別会員農産物生産者
会議開く



▲生産者打ち合わせ会の様子

特別会員に送付する農産物の生産者打ち合わせ会が七月三十日、角田市農業振興公社の会議室で開かれました。会議は、特別会員の皆様の期待に応えられる農産物を生産し、お届けしようという開かれたもの。米やイチゴ、梨の生産者ら十三人が出席しました。

会では、はじめに事務局から今年度の申し込み状況、利用者からのアンケート結果、特別会員事業の運営基準などについて説明がありました。続いて、各作物の生産者代表から今年の農産物の生育状況について、今のところ順調に生育しており、自信を持って届けることができそうとの報告がありました。協議の中では、会員に満足していただける最高のものを生産するこ

とや、万が一クレーム等が発生した時はきちんと対応すること、利用者との生産者がコミュニケーションが取れるような仕組みを作り上げること・・・などについて熱心に話し合いが行われました。

最後に、特別会員の事業は今年度で十四年目になり、一定の評価を受け定着してきていること等を踏まえ、なお一層利用者の満足が得られるよう生産者、公社が一体となり、対応を行っていくことを確認しました。

特別会員事業
農産物の発送



平成二十五年度特別会員の農産物発送第一弾『梨5kg』の発送を九月二日と五日に行いました。今回、発送したものは今年度申込受付した分と昨年度に東京目黒区の株式会社大丸様から申し込みを受けた合計百八十六名の方です。

受け取った特別会員の方々から「見た目も立派で、味もみずみずしく、とてもおいしいです」「水分がたっぷりとても甘くおいしいで

す。大切に作っていらっしゃるか
らだと思えます」等たくさん感
想を頂いています。

十月には、第二弾となるAコー
スの『朝ごはんセット(新米ひと
めぼれ、味噌、梅干し、納豆)』を、
百二十二名に、Bコースの『新米
ひとめぼれ・新米つやひめ・味噌
セット』を二十七名にそれぞれ発
送します。

また、今年度より新たに設けた
Cコース『秘伝豆(枝豆)1kgと
角田産牛肉 五〇〇g』を、四十
三名に発送します。



放射能は『不検出』

平成二十五年度産米

宮城県は九月十二日、角田市で
生産される、平成二十五年度産米の
放射性物質の測定値について公表
し、測定した全てについて放射性
物質は検出されず、安全性に問題
ないとして通常通り出荷・販売が
可能となりました。

検査は、角田市内全域(旧町村
単位)から抽出して二十六検体に
ついて九月十一日に検査を行い、
全ての検体で『不検出(検出限界
以下)』となったものです。

農業簿記初心者研修会を
開催しました

八月七日、農業振興公社と角田
地域担い手育成総合支援協議会と
共催で公社会員らを対象に、農業
簿記初心者研修会を公社会議室で
開催しました。

研修会には七名が出席。ソリマ
チ株式会社より講師をお招きして、
ソリマチ農業簿記9の体験版と研
修用テキストを使って、記帳の仕
方から、減価償却資産の登録と減
価償却費の転送計上、家事関連費
の登録方法など青色申告決算書の
出力まで研修を行いました。

受講された方々から講師の先生
へソフトの機能に関する質問もた
され、三時間の講習にも関わらず
真剣に受講しました。



▲初心者研修会の様子

イベント・募集の
おしらせ

あぶくま農学校農業体験学習

〜稲刈り編〜

今年の五月に田植えを行った三校の稲刈り体験が次のとおり開催されます。

『緑ヶ丘小・北郷小共同学習田』
平成二五年十月二日(水)
午前九時〜

『月光原小・西根小共同学習田』
平成二五年十月五日(土)
午前十時〜

『上目黒小・枝野小共同学習田』
平成二五年十月五日(土)
午前十時〜



▲昨年の稲刈り体験

角田のお酒で
利き酒競技会を開催します

『角田市地酒用地産米消費拡大推進協議会(おらほの美酒を育てる会 岸浪俊一会長)』は、角田市の商工観光課とJAみやぎ仙南シンケンファクトリーと共催で、『かくだ利き酒三酒競技会』を開催します。今回も、角田の地酒と角田産梅で作った梅酒、シンケンファクトリーの地ビールをさらに広くPRするために合同の三酒の競技という形で開催されます。

◆日時 十月二十日(日)
午後六時〜

◆会場 シンケンファクトリー
◆参加費 四千円

問い合わせ先、角田市農業振興公社(〇二二四一六三三三二八)



パソナと共催で
農業者フオローアップ講習会。

昨年度に引き続き、今年度も今月末から十二月までパソナ(厚生労働省から委託を受けた研修実施会社)と共催で農業者雇用支援講習を計五回開催します。農業所得のアップのため、労務管理、マーケティング、経営管理などを習得することを目標に、専門家による講義を行っております。

受講対象者
農業経営者
自立を目指す次世代リーダー等
受講料 無料

受講を希望される方は、当公社(〇二二四一六三三三二八)までご連絡をお願いします。

※第一回 「自己の経営を見つめる
〜経営分析〜」

十月三十一日(木)
十三時三〇分〜十六時三〇分
会場 オークプラザ
(阿武隈急行角田駅二階)

※第二回 「顧客が求める商品作りを考える〜商品開発〜」

十一月七日(木)
十三時三〇分〜十六時三〇分
会場 オークプラザ
(阿武隈急行角田駅二階)

※第三回 「労務から経営とリスク管理を考える
〜労務管理〜」

十一月二十二日(金)
十三時三〇分〜十六時三〇分
会場 オークプラザ
(阿武隈急行角田駅二階)

※第四回 「先進地から学ぶ
〜実地見学〜」

十二月六日(金)
九時〜十七時
会場 JAすかがわ岩瀬
はたけんぼ
(当日はバスで移動します。参加者には別途詳細をお知らせいたします。)

※第五回 「講習会の総まとめ
〜マーケティング〜」

十二月十六日(月)
十三時三〇分〜十六時三〇分
会場 オークプラザ

講師

第一回・第二回・第四回・第五回
ホライズンコンサルティンク
グループ株式会社
代表取締役 庄司 和弘氏

第三回
あべ社会保険労務士事務所
代表 阿部 裕一氏

皆さまのご参加をお待ちしております。